



- 会長／小口泰史
- 副会長／中村文明・林 尚孝
- 幹事／山崎典夫
- 会報委員長／梅垣和彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2743 回例会 2016 年（平成 28 年）3 月 8 日(火)

点 鐘：小口泰史 司 会：林 靖高
斉 唱：手に手つないで ラッキーNo：NO. 22 今井康善
結 婚 祝：尾関秀雄・武井利夫・高木昭好・林 靖高・宮澤由己・山岸邦太郎

会長挨拶

今週中にもシャープが台湾企業のホンハイに買収される事が締結しそうです。私も同じ、ものづくり企業としては、大変に残念な事と思いますし、日本の優れた多くの技術がまた海外に流失してしまいます。

シャープと言えばシャープペンシルを最初に製作した会社で、その後、世界初の製品を幾つも生み出した会社です。シャープは、他の会社が真似をしたくなるような製品を作り出す事をコンセプトとして、企業活動をし、技術力の高い企業として、今日に至っております。皆様がお持ちのテレビも AQUOS「世界の亀山モデル」ではないかと思えます。

技術の流失に関係して、私の会社が製造している消防用結合金具の話をしさせて頂きます。国際的には、消防用結合金具はドイツのストルツ金具が国際的には最も需要があり、日本に於いても、ストルツ金具を必要としているユーザーが多くいます。私と同業種の企業の方が日本に於いて形状、規格寸法、材料成分が似かよった原材料を使用して、ストルツ金具を製作致しましたが、必要な強度を満たす事が出来ませんでした。原材料に特殊のノウハウが有るようで、ドイツの金具メーカーに原材料の提供を求めましたが一切応じて頂け無かったようです。ドイツ国内の製造業を防衛するための策ではないかと思いました。

しかし、日本のユーザーがストルツ金具を必要とされておりますので、当社に於いては、結合部のみ輸入をして、検査機関の製品検査を受けております。しかし、輸入品は図面どおりの機械加工がされない製品が混入しておりますので、全ての寸法検査を実施しなくてはなりません。やはり日本の加工精度、加工技術力は世界一かと思えます。

今までは、日本で開発した優れた原材料を安易に世界各国に輸出をしてきていましたが、現在では、特殊な原材料を海外に輸出をしない動きが出始めているようです。ものづくりの技術の流失の防衛策の一つになるのではないのでしょうか。

会長報告

- 富岡 RC の皆さんが 4/10 御柱 山出しに来られます。地元が忙しいという事で気を使っていただき交流会は行わないと、ご連絡を頂きました。クラブ対応として栈敷席とホテルの予約をしましたが、後は富岡 RC さんに全てお任せいたしましたので、ご報告いたします。

幹事報告

- 次週例会は指定休日です。次回例会は 22 日エコー RC との合同夜間例会となります。(メモリー・16:30 点鐘)

委員会報告

職業奉仕委員会 過日よりご案内をしておりますが、5/10 は健康診断を行いますので、是非多くに皆さんに受診していただきますよう、お願いします。また、4/12 の例会は諏訪広域消防の見学を計画しておりますので、よろしくをお願いします。



卓話「ロータリー・ノート」

宮坂宥洪会員

【1】「ロータリーの目的」の検討

国際ロータリー定款第 4 条「ロータリーの目的」は、2012 年までは「綱領」と呼ばれていた。この時、訳文も若干改められたが、英語の原文は同じである。

ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

⇒宮坂訳：ロータリーの目的は、すぐれた職業人には奉仕という理想的な考え方が基礎にあることを広く知ってもらうようにつとめることである。そのために以下の四点に留意しなければならない。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

⇒宮坂訳：奉仕とはどのようなものであるかという理解を深めること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてのロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

⇒宮坂訳：みずからの商道德を向上させると共に、あらゆる有用な職業の価値を認め、社会に奉仕するものとしてすべてのロータリアンの職業の尊厳を保つこと；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

⇒宮坂訳：ロータリアンは、私的な生活においても、職業の場においても、地域社会においても、奉仕という理想的な考え方のもとに行動すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

⇒宮坂訳：奉仕という理想的な考え方を共有する職業人の世界的組織を通じて、国際理解と国際親善と国際平和の推進に貢献すること。

【2】「四つのテスト」の検討

1932年の恐慌の時、倒産の危機に瀕していた調理器メーカーの再建を要請され社長に就任したハーバード J. テイラーは、「四つのテスト」を提案した。同社の業績は改善を続け、やがて株主に配当できるようになった。1943年に、RI 理事会の認証のもとに、職業奉仕プログラムに組み込まれた。1954年、テイラーがRI 会長に就任した時、その版權をロータリーに委譲した。

「四つのテスト」は職業奉仕プログラムなのである。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

THE FOUR WAY TEST

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL
and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

一番目の「真実かどうか」は、正確には「嘘偽りがないかどうか」です。商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうか、という意味です。

二番目の「みんなに公平か」は、英語の **concerned**（関係者＝業務上の取引先）が訳されていません。「公平」は「平等分配」と勘違いされやすいので、「公正」と解すべきです。「すべての取引先に対して公正であるかどうか」です。

三番目の「好意と友情を深めるか」は、単に「仲良くなる」と言うことではなく、商売上の信用とか評判、のれんの価値を高めるかという意味です。そうした信用にもとづく人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。

四番目の「みんなのためになるかどうか」は、端的に「儲けになるかどうか」を意味します。英語の **BENEFICIAL** は「利益をもたらす」ことです。儲けるけることは決して悪いことではありません。問題は、まさしく「みんなが」儲かるかどうかです。これは大切なことです。自分だけが儲かればよい、という考えではなく、顧客や取引先や従業員など関係者みんなが潤うことが「奉仕の理想」なのです。

ニコニコボックス

牛山幸一・梅垣和彦・大橋正明・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・小山 智・佐伯克己・薩摩 建・瀬戸雅三・高木昭好・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮澤由己・山岸邦太郎・山崎典夫・今井康善 宮坂宥洪会員 卓話よろしくお願ひします。

矢島 實 表彰していただきました。

今井康善 明治31年創業、これからも地域のために頑張ります。

高木昭好 3月20日で会社創立52年を迎えます。今年は次に引き継ぐ年度と思っています。3月5日には結婚記念日の可愛らしい花鉢が届き、家が明るくなり、ありがとうございました

出席報告

会員数41名、出席者28名、出席率71.79%、前々回訂正92.36%

2015～2016年度RIテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

